

## 令和7年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	71	学校名	浜松西高等学校	記載者	柴 博昭
------	----	-----	---------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	知的好奇心・探究心を大切に、幅広い知識・思考力・表現力等、未来に生きる確かな学力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「授業の内容がよく分かる」80%以上</li> <li>○「授業は学力を伸ばすことに十分役立っている」80%以上</li> <li>○「家庭学習が充実している」80%以上</li> <li>○「授業→復習の学習サイクルが確立できている」数英各70%以上</li> <li>○「本校の図書館を月1回以上利用している」50%以上</li> <li>○「毎日のように読書をしている」50%以上</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館利用に関わる取り組みは素晴らしい。引き続き取り組んでほしい。</li> <li>・昨年度の成果目標「家庭学習時間」を「家庭学習の充実」としたのは具体的で良い。</li> <li>・部活と家庭学習のバランスが大事。</li> <li>・英語・数学の学習サイクル確立の数字は気になる。学年が上がるにつれ個人差が広がるのは仕方がない面もある。学習意欲と学習量や方法等の物理的な問題の両面の個別指導をさらに続けていきたい。</li> </ul>
イ	地域社会・国際社会のリーダーとして必要なコミュニケーション能力・高い倫理観等の資質・能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「興味や関心を喚起される授業が行われている」80%以上</li> <li>○「自分の意見を相手にはっきり伝えることができる」80%以上</li> <li>○「相手の意見をしっかり受け止めることができる」80%以上</li> <li>○「自分から進んで行動できる」80%以上</li> <li>○「学校生活に満足している」80%以上</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に取り組まれている。</li> <li>・将来、本校生徒は地域のリーダーとしての活躍が大いに期待されている。</li> <li>・一方通行の授業だけでなく生徒の発言する機会を設け、コミュニケーション能力の向上に努めていただきたい。</li> <li>・自分の意見をはっきり伝え合う学習機会が、日常の授業の中で多く実践されているので、その中でコミュニケーション能力が磨かれていることを実感した。</li> </ul>

様式第5号

ウ	<p>生命に対する畏敬の念や異なる人々を受け入れる優しさを育てるとともに、防災や安全に関する意識を高める。</p>	<p>○「自他の生命の大切さについて、主体的に考えている」80%以上          ○「学校において悩み等を相談する方法や場所を知っている」90%以上          ○防災マニュアルポケット版の携帯率100%          ○防災に関する職員研修を実施。○交通マナーに関する苦情0件、交通事故0件</p>	B	B	<p>・事故に関してはゼロを目標にし、毎年達成出来るよう取り組んでほしい。          ・自転車による交通事犯は取り締まりが厳正化し、道路交通法も変わるので指導の徹底を。          ・自転車の事故や苦情がなくなるように、安全に対する意識を高めたい。</p>
エ	<p>自分の幸福を追求するだけでなく、社会の発展に積極的に貢献しようとする意欲をもつ生徒を育てる。</p>	<p>○「ボランティア活動や地域の活動に参加した」70%以上          ○「フィールドスタディ・プログラムに満足している」80%以上          ○「大学での学びに興味関心が高まった」80%以上          ○「探究学習は、課題発見解決能力の向上や、自己の進路選択に役立っている」80%以上          ○「相手の立場や意見を尊重している」90%以上          ○「校則等の決まりを守って生活している」90%以上          ○「規則正しい生活をしている」90%以上          ○「近所や知り合いの人にあいさつをしている」90%以上</p>	B	B	<p>・地域活動への参加は災害時の備えとして重要と思う。          ・学校外の活動にも積極的に参加してほしい。          ・高校3年生の、将来や夢に対する意識の高さは、6（3）年間の継続的な教育活動により培われた賜物である。ボランティア活動については、高校生という現実の生活を考えると仕方ないと思う。</p>
オ	<p>目標の実現に粘り強く取り組むたくましい心と体を育成するとともに、生徒の主体的な取組を通して自主・自律の精神を育み、生徒が主役の明るく規律ある学校づくりを進める。</p>	<p>○「学校行事に積極的に取り組んでいる」80%以上          ○「学校が楽しい」90%以上          ○「学校において人間関係は良好である」90%以上          ○「校内美化（清掃等）に前向きに取り組んでいる」90%以上</p>	A	A	<p>・「学校が楽しい」と感じてもらえるのが一番だと思う。100%目指して引き続き取り組んでほしい。          ・積極的に取り組まれていると思う。          ・中学生での経験を生かして“行事は主体的に取り組む”ことの楽しさを体現する力がついて個人としてもチームとしても前向きに取り組めるのだと思う。もちろん、教師の支えも機能している。</p>

様式第5号

カ	<p>系統的・組織的な進路指導を通して、一人一人の夢と志を可能とする進路を実現する。</p>	<p>○高2末までにオープンキャンパス参加者80%以上          ○「大学教授などの外部の方から話を聞くことで進路意識が高まっている」80%以上          ○「西山台チャレンジサポート」申請者の増加          ○「学校から進路に関する情報や指導を十分受けている」80%以上          ○生徒自らが立てる進路目標実現率90%以上          ○難関国公立大合格者35人          ○国公立大合格者120人</p>	A	A	<p>・大変だが、様々な機会を与える取り組みを継続してほしい。          ・進路指導の在り方も改善が必要な時期になってきたのではないかな。          ・将来、各界でのリーダーが輩出されてきた西高の伝統に誇りをもってもらいたい。          ・進路指導には将来へのステップとして最重要である。          ・先輩の講話や実際の大学教授との交流は生徒にとって身近に感ずることができ、進学への現実的な参考となり希望が持てる。</p>
キ	<p>生徒を鍛え、生徒の自己実現を支援することができる、高い指導力をもつプロの教師集団を目指す。また、組織を支える教職員一人一人のワークライフ・バランスの保持・向上に努める。</p>	<p>○評価の方法・課題等について情報共有を行う。          ○中等部・高校間の授業見学率100%          ○授業リサーチの実施          ○ICT活用について他校等における事例の情報共有を行うとともに、研修会を通じて、アクティブラーニングの取組が活発化する。          ○人権教育に関する情報提供1回以上          ○外部の教科研修会への参加者10名以上          ○「学校に信頼できる教師がいる」80%以上          ○管理職からの声掛け100%          ○月80時間以上の時間外勤務従事者5%以下</p>	A	A	<p>・数値はあくまでも目安として、教員間のコミュニケーションを大切に、教員も楽しく働ける環境を引き続き目指してほしい。          ・教育現場でも書類作成をAIで行うなどAIの活用を検討してください。          ・西高の教師集団は素晴らしいし。西高で鍛えられたいと希望する教員が異動してくる学校でありたい。          ・教師との信頼関係は大事。教職員の過重な残業は極力減らし、健全な心身で職務に従事することが重要。          ・目の前の生徒にとって必要な学習内容や方法、社会で求められる人材を育てるための教育活動の研究は、広い視野と深い探求が常に必要であることを全教員が理解し、努めていることは素晴らしい。オン・オフの適切な切り替えスイッチを持ちたい。</p>

様式第5号

ク	<p>「魅力ある学校づくり」を進め、中高一貫の特色を生かした信頼される教育体制の充実に努める。</p>	<p>○「シラバスから授業の年間計画が分かる」80%以上          ○中高教員の乗り入れ8人以上          ○生徒支援委員会年6回以上          ○「3年間または6年間を通した進路指導計画について知っている」80%以上</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導の方針も時代に合わせ見直していく必要があるのではないのでしょうか。</li> <li>・中高一貫校の利点を大いに生かしてほしい。</li> <li>・本校で学んで良かったと感じられる生徒が増えることが望ましい。</li> <li>・シラバスの毎年の改善は、その学年の生徒の実態に合った教育活動がなされる上で大切。中高教員の乗り入れは、一貫校のメリットであるので、進めていきたい。</li> </ul>
ケ	<p>コンプライアンスの遵守に配慮するとともに、情報の発信を積極的に行い、生徒・保護者・地域の人々から信頼される学校経営に努める。</p>	<p>○「学校の教育活動に信頼感を抱いている」保護者90%以上          ○ホームページの年間更新100件以上、アクセス数50、000件以上          ○「学校説明について分かった」参加者90%以上</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に取り組まれていると思う。</li> <li>・教科教員集団、学年担当教師集団の相互連携・情報交換を密にしてほしい。</li> <li>・コンプライアンス遵守と情報開示。風通しの良い環境構築を。</li> <li>・学校ホームページは、保護者や地域にとって、学校の様子をうかがう大事なツールであるので、更新作業は手間がかかり大変だと思うが、頑張してほしい。</li> </ul>
コ	<p>教育目標を達成するため、各目標具現化の柱の遂行に係る適切な財務執行を図る。</p>	<p>○節電等経費削減の周知を徹底し、光熱水費使用量を、令和3年度を基準に削減する。          ○監査、検査等での指摘事項0件</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節電等の経費削減は素晴らしい。教育に支障がない範囲で引き続き取り組んでほしい。</li> <li>・他校に劣らない学習環境を整えてもらいたい。</li> <li>・もともと潤沢とは言えない学校予算の中で、特に電気代の削減は大変だったと思うが、きめ細かな努力により実現されたことは素晴らしい。</li> </ul>